

学長選考会議議事録

(令和元年度 第4回)

令和元年9月25日(金)

13時00分から19時40分まで

法人本部3階「第一会議室」

【出席者】

経営協議会選出委員

相澤 益男 青塚 晃 井上 弓子 里村 正治 里見 進
ストロナク・ブルース 中野 光雄

教育研究評議会選出委員

清塚 邦彦 大森 桂 大西 彰正 山下 英俊 飯塚 博
林田 光祐 根本 建二

【欠席者】 なし

【陪席者】 小島理事 渡辺監事 竹内監事

議事に先立ち、相澤議長から、今年度第2回及び第3回の議事録の確認が行われ、議事録が確定された。

I 協議事項

1 学長候補者の選考について

相澤議長から、本日の会議における進め方等について、資料に基づき説明があった。

(1) 第一次学長候補適任者ヒアリング

相澤議長から、第一次学長候補適任者からのヒアリングの進め方として、各自20分の所信説明の後、1時間の質疑応答を行う旨の説明があり、了承された。

次いで、第一次学長候補適任者について、公表(50音順)と合わせ、大場好弘氏、久保田功氏、玉手英利氏の順にヒアリングが実施され、各自が用意したプレゼン資料等による発表に続き、委員との質疑応答が行われた。

(2) 学長候補者の選考

相澤議長から、次期学長候補者の選考については、学長候補適任者の経歴・業績及び所信並びに「所信を聞く会」及び本日のヒアリングの状況等を総合的に評価し、学長候補者として最も適任であると考える者を、学長選考会議委員としての見識において適切に判断する必要があること、並びに、選考方法については、規程により、はじめに協議による選考を行い、これに依り難い場合は委員の投票により選考することになる旨について説明があった。

その後、協議による選考として、各委員から意見を聴取し、種々の意見交換と十分な審議を行った上で、議長から、議論の状況を踏まえ、規程に基づき委員全員による投票により選考を行うこととしたい旨の提案があり、了承された。

次いで、全委員により投票を行った結果、玉手英利氏が僅差ではあるが有効得票数の過半数を得たことから、議長から、学長選考会議として、次期学長候補者に玉手英利氏を選考し、決定することについて諮られ、全会一致で了承された。

(3) 学長候補者への就任要請等

学長選考会議における選考結果を受けて、議長から玉手英利氏に対して学長候補者として選考された旨を伝達し、本人から就任受諾が得られたことから、その結果が本会議に報告されるとともに、会議終了後、議長から選考結果を学長に報告することが確認された。

なお、今回の学長選考における経緯等を踏まえ、議長から、今後の大学経営における全学一致体制を基本とする組織運営等、特に留意すべき事項について、学長選考会議として次期学長候補者に書面をもって申し入れることが提案され、了承された。当該申し入れ事項については、次回の学長選考会議において文案を提示し、確認することとされた。

(4) 公表資料の確認

相澤議長から、学長候補者の選考結果を公表する必要があるため、選考理由を含む公表資料の内容について審議願いたい旨の説明があり、事務局より公表資料案が配布され、審議の結果、提案のとおり了承された。

併せて、今回の投票による選考結果について、得票数等の詳細は非公開とすることが確認された。

2 その他

II その他

相澤議長から、次回開催は、議事等を整理した上で、改めて案内する旨の発言があった。